



株式会社 ジェイ・エム・エス

<http://www.jms.cc/>

証券コード 7702

2013年(平成25年) 3月期 第3四半期

2012年(平成24年) 4月1日 ~ 2012年(平成24年) 12月31日

連結決算の概要

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績ハイライト

第3四半期 2012年(平成24年) 12月期 — 増収増益 —

(%表示は、対前期増減率)

売上高 367.3億円 (5.9%増)

売上高	【国内】 -輸液輸血関連製品・人工腎臓用血液回路の販売が引き続き伸長
	【海外】 -米国向け成分献血用回路・誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加 -中国国内向けAVF針(血液透析用針)の販売が引き続き伸長

営業利益 16.4億円 (79.3%増)、経常利益 19.3億円 (58.3%増)、四半期純利益 13.9億円 (74.8%増)

利益	-増収による利益増加が人件費などの固定費を吸収 -持分法による投資利益の計上
----	---

通期連結業績予想の修正

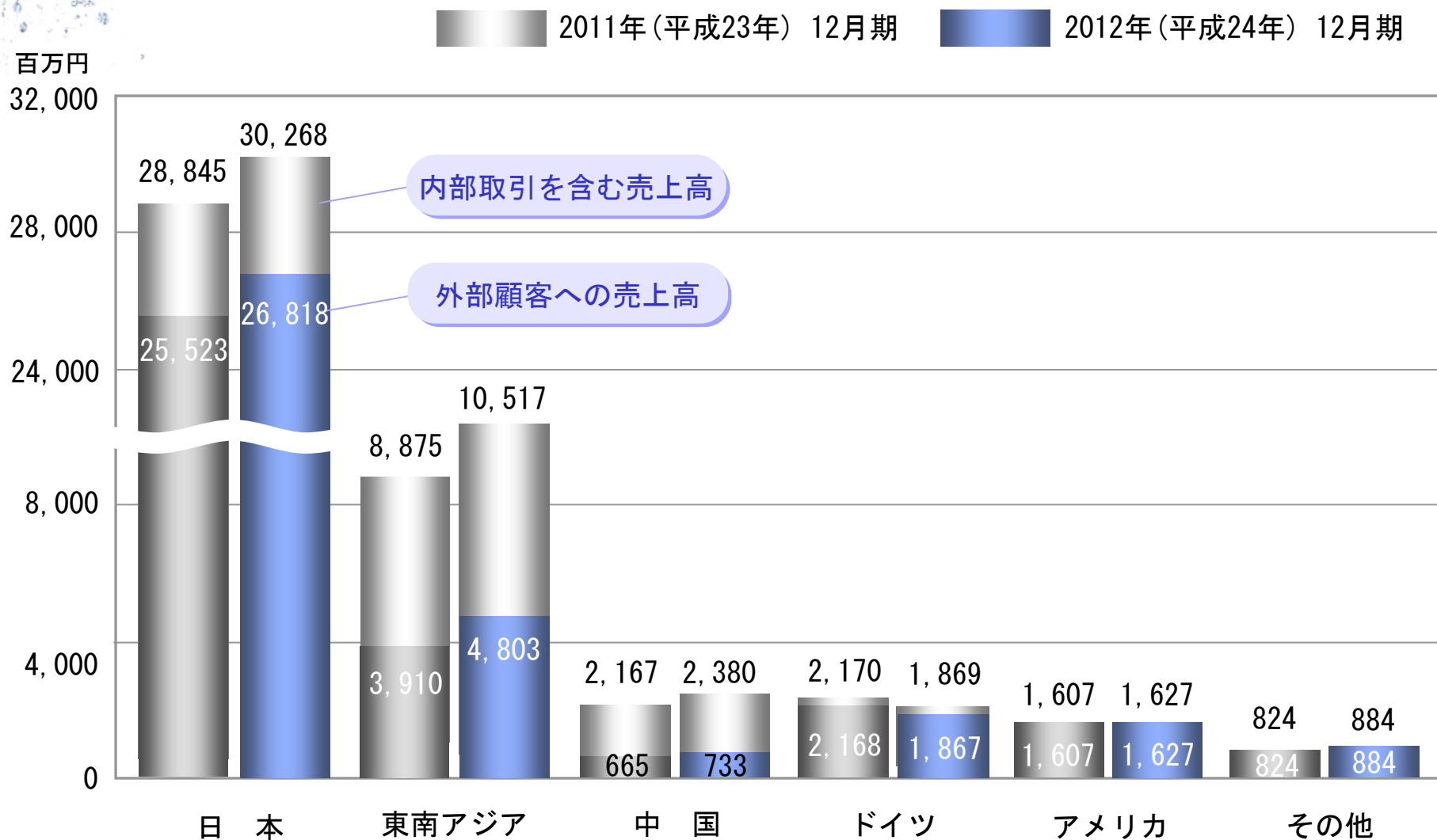
-為替動向や新興国における原価上昇等の影響を考慮し、通期連結業績予想を下方修正しました。

増収増益

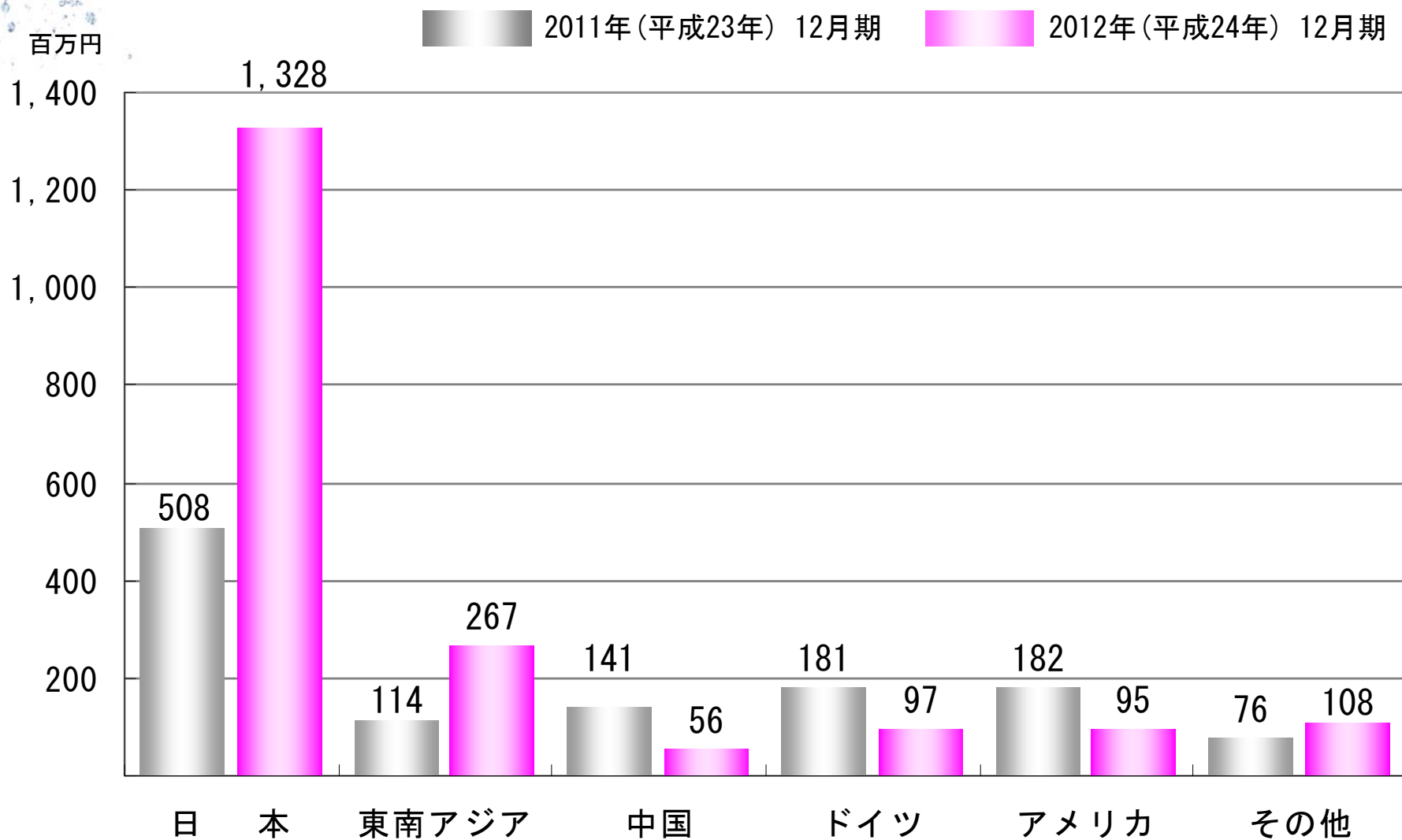
百万円

	2011年 (平成23年) 12月期 実績	2012年 (平成24年) 12月期 実績	対前期 増減率
売上高	34,701	36,733	5.9%
営業利益	919	1,649	79.3%
経常利益	1,224	1,937	58.3%
四半期純利益	797	1,394	74.8%
一株当たり 四半期純利益	18.48円	32.31円	---

セグメント業績・売上高



セグメント業績・利益



セグメント業績



対前期増減率



日本

売上高 30,268 百万円 4.9%

セグメント利益 1,328 百万円 161.4%

輸液輸血関連製品や人工腎臓用血液回路の
販売が引き続き伸長。



東南アジア

売上高 10,517 百万円 18.5%

セグメント利益 267 百万円 133.5%

米国向け成分献血用回路や日本向け人工腎臓
用血液回路の販売が好調に推移。



中国

売上高 2,380 百万円 9.8%

セグメント利益 56 百万円 △59.9%

中国国内向けA V F針の販売が引き続き伸長。



ニードルレスアクセス
ポート「プラネクタ」付
輸液セット

輸液セットは人間の体液に必要な水分や電解質を投与するために使用する医療機器です。「プラネクタ」は輸液セット等に対し金属針を使用せず接続が可能なニードルレスアクセスポートで、患者さんにとっては薬液や血液の汚染要因を減少させ、医療従事者の方々にとっては針刺し事故を防止するため、双方への感染リスクを大幅に低減します。



人工腎臓用血液回路

血液透析を行う際、体外へ取り出した血液を、血液透析装置を用いて循環させるためのチューブです。

セグメント業績



対前期増減率



ドイツ

売上高	1,869 百万円	△13.9%
セグメント利益	97 百万円	△46.1%

EU圏におけるAVF針・透析用チェアーの販売が低調に推移。



アメリカ

売上高	1,627 百万円	1.2%
セグメント利益	95 百万円	△47.6%

北米向けAVF針の販売が低調に推移したものの、誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加。



その他

売上高	884 百万円	7.2%
セグメント利益	108 百万円	42.4%



AVF針（血液透析用針）

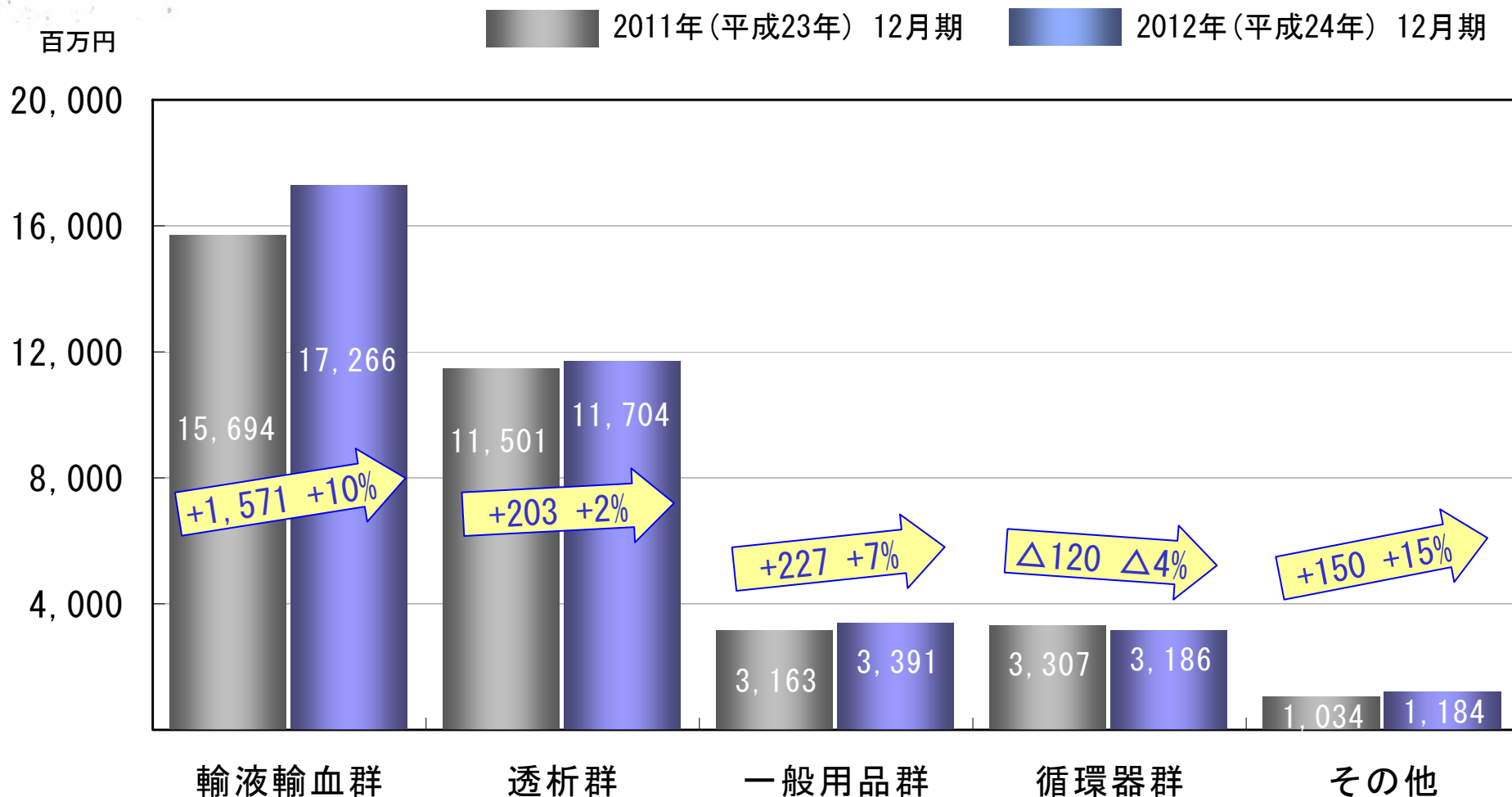
血液透析を行う際に、シャント（動脈と静脈を接合した部位）から血液を体外へ取り出すための針です。



誤穿刺防止機構付翼状針

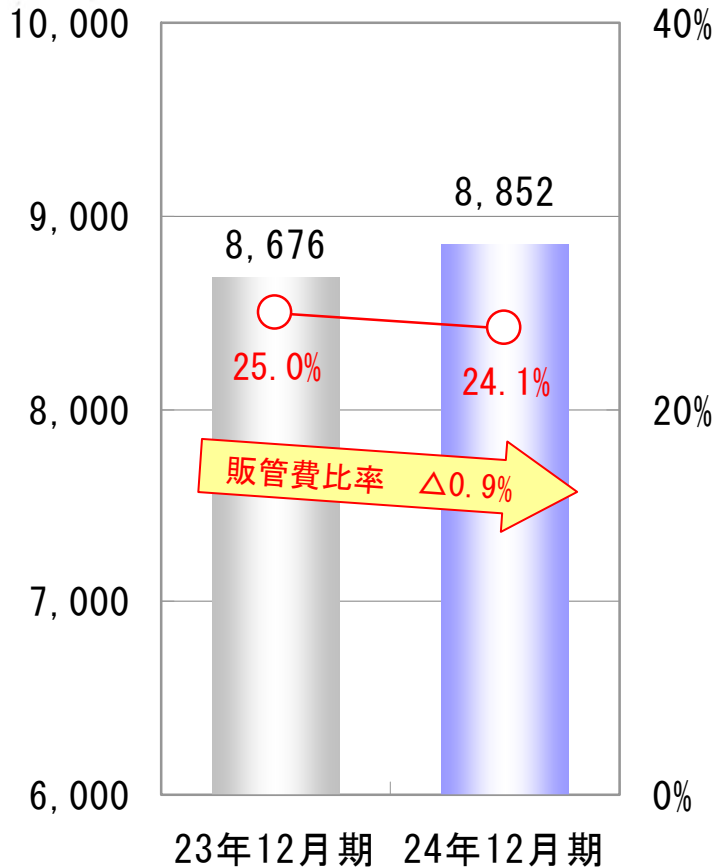
静脈注射や採血、点滴に使用するチューブがついた注射針で、固定しやすい形状になっています。使用后、チューブを引くと針先が本体に収納され、針刺し事故を防止します。

売上高／システム部門別



販売費及び一般管理費

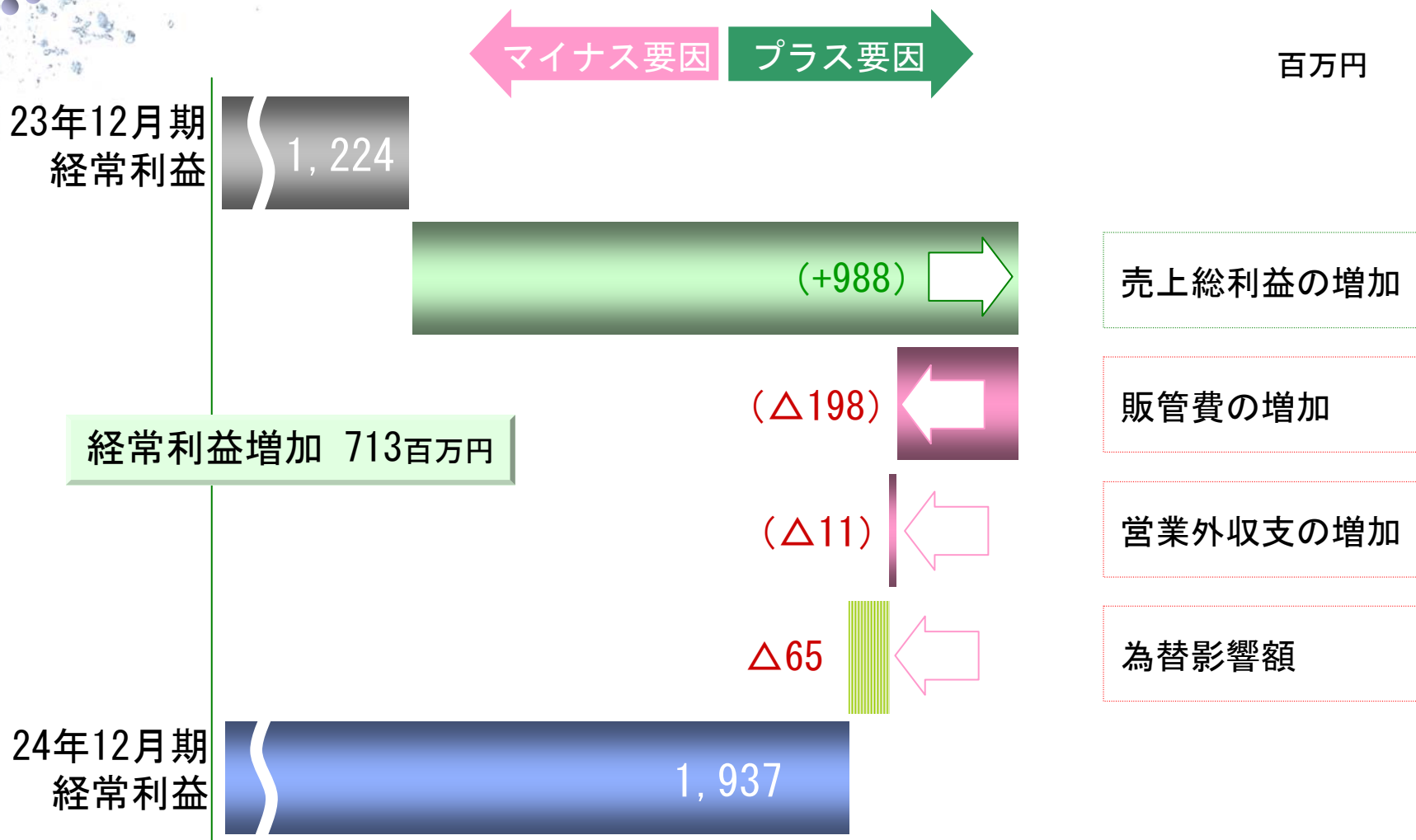
百万円



百万円

	2011年 (平成23年) 12月期	2012年 (平成24年) 12月期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	3,772	3,918	146	3.9%
運 送 費	981	1,052	71	7.3%
研究開発費	1,043	945	$\Delta 98$	$\Delta 9.4\%$
減価償却費	331	257	$\Delta 74$	$\Delta 22.4\%$
そ の 他	2,547	2,679	131	5.2%
計	8,676	8,852	176	2.0%

経常利益：前期実績との比較



()内は為替影響を除く

平成25年3月期 通期連結業績予想



百万円

	2012年(平成24年) 3月期 実績	2013年(平成25年) 3月期		
		前回予想	今回予想	増減額
売上高	46,836	48,000	48,000	---
営業利益	1,052	2,300	2,000	△300
経常利益	1,382	2,500	2,200	△300
当期純利益	942	1,550	1,400	△150
一株当たり純利益	21.84円	35.92円	32.44円	---

在外子会社における為替変動による利益影響の他、新興国における政策的な賃金引き上げに伴う原価負担増等の影響を考慮し、通期連結業績予想を下方修正しました。

- 針刺し事故を防止する静脈留置カテーテル
「セーフウイングキャス」販売開始

2012年(平成24年) 9月27日

針刺し事故防止静脈留置カテーテル
「セーフウイングキャス」



- 電子線滅菌工場建設に関するお知らせ

2012年(平成24年) 6月25日



千代田工場(広島県山県郡)敷地内
電子線滅菌工場
完成予想図

- 新発売 半固形状栄養材注入システム
「ジェイフィード ペグアシスタ」

2012年(平成24年) 4月20日

半固形状栄養材注入システム
「ジェイフィード ペグアシスタ」



※日付:プレスリリース開示日

ジェイ・エム・エスは、「患者様第一主義」を企業理念に掲げ、医療に貢献する企業として活動を続けています。

ジェイ・エム・エスは、これからも
[お客さまに感動を与える製品とサービスの提供]を基本方針に、
医療従事者の方々、患者様・ご家族、一人ひとりに、笑顔と元気
を与え、より多くの幸せを創り出すことに、グループ一丸となっ
て専念して参ります。

今後とも格別のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。